



多様なニーズに配慮した モバイル サービスの提供

株式会社ケイ・オプティコム(以下、ケイ・オプティコム)では、顧客のポリシーを正確に維持し、データを円滑に管理しながら幅広いユーザ サービスを運営しています。

「Cisco Policy Suite は、お客様に最善のサービスを行うことができる環境を提供してくれます。」

—ケイ・オプティコム 技術本部 計画開発グループ
グループ マネージャー 松本 佳宏氏

西日本のインターネット サービス プロバイダーである株式会社ケイ・オプティコムは、仮想移動体通信事業者(MVNO)市場に参入し、モバイル サービスを提供することを2013年に決定しました。日本は、今後5年間で最も急速に成長するMVNO市場の1つと予測されています(出典:『MVNO Outlook: 2014-19 (MVNOの展望:2014~19)』Ovum, 2014年10月22日)。

課題

- 各ユーザのニーズに配慮し、カスタマイズしたプランを提供および管理する
- 家族とのデータ容量の共有や未使用データ容量の繰り越しなど追加のサービスを提供する
- 柔軟性とインテリジェンスによって優れたパフォーマンスと拡張性を実現する

ケイ・オプティコムのモバイル サービスは mineoと呼ばれています。これは、mine(自分にぴったり・私のもの)とneo(新しい)という言葉をつなぎ合わせた混成語です。新しい顧客を獲得するために、ケイ・オプティコムはLTEのサービスエリアが最も広い日本の大手通信事業者 KDDI株式会社(以下KDDI)のネットワークでモバイル サービスを運営することを決定しました。

ケイ・オプティコム 経営本部 モバイル事業戦略グループのグループ マネージャーである津田 和佳氏は次のように語ります。「当社は日本で初めて KDDI と連携したMVNOです。すでに多くのプロバイダーが NTTドコモ(株式会社NTTドコモ、以下NTTドコモ)のネットワークを利用していましたので、当社は競合他社と一線を画したかったのです」。

通常、KDDI や NTTドコモなどの大手モバイル ネットワーク事業者は、1ヵ月あたり約7,000円(約60米ドル)で毎月8GB利用できるデータ プランを提供しています。これは多くのユーザにとって使いきれぬ容量とは言えず、納得して支払える金額も超えているかもしれません。ケイ・オプティコムでは、1GB、2GB、および4GBのプランを、月あたりそれぞれ850円(約7ドル)、980円(約8ドル)、および1,580円(約13ドル)の料金で提供し、大幅に価格を下げることで、mineoを差別化することにしました。また、新しくスタートしたmineoプリペイドパックは、4G LTEを利用した1GB データ プランで、3,200円(約30ドル)の料金で最大2ヶ月間の利用が可能です。

株式会社ケイ・オプティコム

規模:従業員 1,254名
(2014年4月1日現在)

所在地:大阪府

業種:電気通信事業者





津田氏は次のように語ります。「当社の調査によると、日本の全携帯契約者数の60～70%は、データパケットを完全に使い切れていません。当社のサービスはこのようなお客様に非常に適しています」。

mineoは、モバイルデータを賢く利用したい顧客をターゲットにしています。たとえば、一般的なmineoの顧客は自宅や職場でWi-Fiネットワークを活用し、電車で通勤しているときや友人と外出しているときのみモバイルデータを使用します。

mineoのサービス設定にあたり、ケイ・オプティコムは課題の1つは、多くのプランやサービスを正確に管理することでした。ケイ・オプティコムは、各mineoユーザに適したポリシーを管理し、ユーザの支払い対象となる正確なデータ容量を提供する必要があります。顧客がプランの制限に近づいた場合、mineoからメッセージを送信して顧客に通知する必要があります。もう1つの課題は、家族とのデータ容量の共有や未使用データ容量の翌月繰り越しなどのサービスや、将来の新しいサービスを提供できるよう、柔軟なシステムを構築することです。

サービスプロバイダー向け Cisco Policy Suite は、契約者の満足度を最適化し、将来のビジネスチャンスを最大化します。

ソリューション

- 100万人の携帯電話契約者に対応できるインフラストラクチャを構築
- 各種プランやサービスの使用に関するポリシーの正確な管理を実現

あらゆるオプションに対応する Cisco Policy Suite

ケイ・オプティコムは、モバイル向け Cisco Policy Suite を使用して、mineo契約者に素晴らしいエクスペリエンスを提供できます。また多様なユーザに適したポリシーを設定し、ユーザが納得して支払える正確なデータ量をプロビジョニングすることで、そのネットワークリソースを最適化できます。Cisco Policy Suite により、ケイ・オプティコムはすべての mineo顧客向けプランを円滑に管理し、顧客が制限に近づくタイミングを把握して、制限を超える前に自動通知を送信できます。

また、mineoの顧客にさまざまな便利なサービスを提供することもできます。たとえば、顧客は当月までの未使用分データ容量を翌月に繰り越すことができ、さらに家族で共有することもできます。Cisco Policy Suite を使用して、ケイ・オプティコムはデータ容量を超えている契約者の使用を一時的に制限できます。将来、追加のサービスを作成して、市場に投入することもできます。

より良いサービスを実現する柔軟性

ケイ・オプティコム 技術本部 計画開発グループのグループ マネージャーである 松本佳宏氏は次のように語っています。「シスコのポリシー データ管理ソリューションの柔軟性を活用して、当社は規模を拡大し、新しいサービスを拡張しています。Cisco Policy Suiteの導入を決定した大きな理由はここにあります。当社は mineoユーザを100万人獲得することを目標にしており、各ユーザのニーズに配慮したいと考えています。Cisco Policy Suite は、お客様に最善のサービスを行うことができる環境を提供してくれます」。



オンデマンドで利用可能なネットワーク リソース

ケイ・オプティコムでは、Policy Suite を Cisco® ASR 5000 シリーズ パケット コア接続ソリューションとともに使用しています。Cisco ASR 5000 シリーズ プラットフォームは、優れたパフォーマンスと拡張性に加えて、柔軟性、仮想化、インテリジェンスを併せ持っており、必要に応じてネットワーク リソースを使用できます。Cisco Policy Suite と ASR 5000 シリーズは、ケイ・オプティコムの既存のサーバクラスターで実行されているすぐに利用可能なソリューションとシームレスに統合されています。

実装を容易にするシスコ パートナー

ケイ・オプティコムは、富士通を mineoプロジェクトの実装パートナーとして選びました。松本氏は次のように語っています。「富士通はこのプロセスにおいて重要な役割を担っていました。シスコのシステムを実際に運用する前に、富士通のラボを借りてテストを繰り返しました」。富士通チームと協力して作業を行ったシスコ アドバンスド サービス チームは、Cisco Policy Suite の実装と統合を実現し、ケイ・オプティコムの社員にトレーニングを実施しました。このチームは、システムの展開に伴って生じる問題にいつでも対応します。

松本氏は次のように語っています。「シスコと一緒に仕事をする上で非常に素晴らしいベンダーです。シスコのデンプターの施設を訪ね、ソリューションのデモを見たときは非常に感心しました。この訪問はベンダーを選択する上で非常に重要なものとなりました。」

結果

- ・ データ サービス提供料金を大手競合他社の価格の4分の1まで削減
- ・ 柔軟性により、新しいサービスやデータ 容量の共有および拡張機能を容易に提供

将来へのつながり

日本のモバイル市場の規制撤廃により、MVNO はさらに多くのユーザ サービスを提供することができます。ケイ・オプティコムは、新しいデータ容量のサービスを検討しています。これらのサービスを含む様々なサービスが、Cisco Policy Suite の柔軟性および拡張性により可能になります。

その他の詳細情報

サービス プロバイダー向け Cisco Policy Suite の詳細については、www.cisco.com/jp/go/mobilepolicy を参照してください。

製品 & サービス

- ・ サービス プロバイダー向け Cisco Policy Suite
- ・ Cisco ASR 5000 シリーズ モバイル マルチメディア コア プラットフォーム
- ・ シスコ アドバンスド サービス

©2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2015年2月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社
〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先